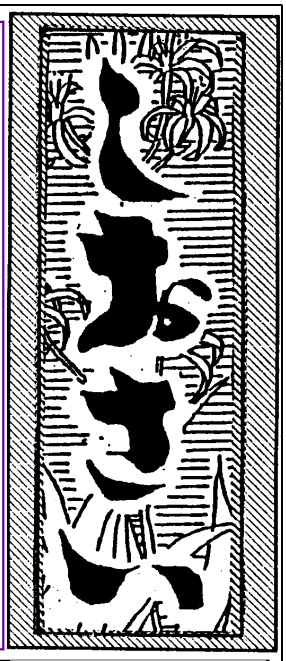

１学期を振り返って

教頭　後藤　勇造

今学期、新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受けました。３月２日（月）からの二度の臨時休校に加え、学校が再開されても、ドクターや保護者の判断により、ほとんどの児童生徒が登校や授業を見合わせました。この間、入学式、授業参観等行事の中止、ＰＴＡ総会の書面議決への変更、臨時休校等の授業保障のため夏期休業の短縮等の対応を行いました。

臨時休校中には、児童生徒の学力保障のため、また、気持ちが和らぐよう、オンラインを使った教材、教師による寸劇等、提示する学習に、児童生徒は集中して見たり笑顔で楽しんだりしていました。その他、生徒同士の交流、地域の方やＡＬＴとの交流、普段行けない観光地の紹介、遠隔地の保護者の授業参観等、オンラインの良さを生かした新たな取組も行いました。

在宅訪問生は６月１日（月）から、通学生は分散・短縮登校で７月３日（金）から、授業が再開できるようになりました。院内訪問はできていませんが、３密予防、教材の消毒、職員の体調管理等、感染予防を徹底した上で、授業の充実を図りたいと思います。

２学期以降も新型コロナウイルス感染状況については予断を許しません。児童生徒を第一に考え、できることを精一杯取り組んで行きます。今後とも御理解・御協力をお願いいたします。

仮教室での授業再開

７月２日（木）に業者による仮教室への引っ越しを行いました。机、椅子、大型テレビ、教材棚等、必要最小限の物品を移動し、仮教室の設営を行いました。７月３日（金）より早速授業を再開しました。新型コロナウイルス感染予防のため、午前１０時～午前１１時、午後１時～午後２時の１時間、３～４人にグループに分けての授業を行っています。それでも、久しぶりまたは初めて出会うことができ、お互いに笑顔であふれました。児童生徒も久しぶりの授業にとても意欲的に取り組んでいます。

ソーシャルディスタンスをとって授業中

職員はマスクとフェイスシールドを着用

本校ＨＰです

～　今後の予定　～

８月２４日（月）２学期始業式
１０月２５日（日）授業参観・同窓会
１２月２４日（木）２学期終業式

オンライン授業にチャレンジ

新型コロナウイルス感染症の予防のため、なかなか授業ができない児童生徒に対し、オンライン授業の取組を行いました。手を取って支援をすることの多い児童生徒に対し画面越しの授業はとても不安でした。しかし、児童生徒の興味関心のある映像を用意したり、注目を集めることができる授業構成にしたりして授業を行うと、児童生徒たちは、画面をよく見て、教師の問いかけにも笑顔で答えていました。

○日頃、なかなか行くことのできない「あこうの木」から中継を行ったり、訪問教育の生徒、保護者ともつながったり、とっても楽しい授業となりました。

○「おおきなかぶ」の読み聞かせも、ミュージカル風の劇仕立てにしました。生徒も画面越しに「うんとこしょ。どっこいしょ」と、紐を引っ張り、おおきなかぶを一緒に抜きました。

【オンライン授業について】

メリット	デメリット
○感染の心配がない。	○機器やネット環境が必要。
○誰とでもつながる。	○機器のトラブルがある。
○様々な場所から中継できる。	○声が重なり、聞き取りにくい。
○画面を通してだが、リアルタイムのやりとりができる。	○直接支援ができない。
	○表情や身体の動きが読み取りにくい。

発　行
熊本県立苓北支援学校
〒863-2503
天草郡苓北町志岐1120
TEL 0969-35-1780
校長 高野　寛美

“青い空　光る海　輝く瞳のなかまたち”